

VISION1 効率的で質の高い財政運営の確立		
	目 標	実 績
1	首長報酬30%及び退職金50%の削減を行い、まちづくりの財源として活用します。	◎平成25年8月1日から削減を実行しました。（これにより、4年間で約1,700万円の削減効果。）
2	柏原市が所有する公共建物、公共用地の管理形態（民営化・売却を含め）を改め、コスト削減を行います。	◎公共施設等総合管理計画の平成28年度末の完成に向け策定作業を平成27年7月にスタートしました。 ◎市庁舎や学校整備等に際し、公民連携（PPP）を導入するためガイドラインを策定しました。 ◎公民連携ガイドラインに基づき、民間事業者から市庁舎整備（案）を募集しました。また、柏原中学校区の小中学校統合整備について民間連携事業の可能性調査を行いました。 ◎サービス向上と健全経営のため、サンヒル柏原の運営事業者を平成27年10月から専門の民間事業者に変更しました。 ◎公共施設にネーミングライツを実施し、市の収入アップを図りました。
3	公会計改革を通じた財政運営の刷新を図ります。	◎公会計改革のベースとなる固定資産台帳について、平成28年度末の完成に向け、公共施設白書（平成28年3月策定予定）の策定作業を進めました。
4	民営化や指定管理者制度の活用により行政組織の見直しやスリム化を図ります。	◎行財政健全化の一環として、平成27年6月から市内循環バス路線の一部を民間委託しました。 ◎低年齢児の受け入れ枠拡充と行財政健全化を同時に図るため、公立保育所1カ所を民営化しました。（平成28年4月施行） ◎平成27年7月オープンの自然体験学習施設（スマイルランド）を指定管理者による運営に変更しました。（平成28年4月施行）
5	部長マニフェストを導入することで、市民との約束を果たします。	◎施策の目標管理を徹底するため、平成25年度から部長マニフェスト制度を導入し、各年のPDCAサイクルの経過を公開し取組みを定着化しました。
6	縦割り組織を改善し、柔軟に市民のニーズに対応できるよう組織体制を見直します。	◎平成27年4月から賑わいや子育てに関わる部署を統合し、組織の縦割りを排除し、連携を強化しました。 ◎柏原暮らし促進検討PTなど、施策テーマごとに横断的なプロジェクトチーム等を作り柔軟に対応しました。
7	ワンストップの総合窓口を充実させることにより、窓口サービスを向上させます。	◎年度末や年度初めの転出入者の多い時期に、窓口部門において、土日開庁を実施しました。 ◎窓口部門において、来庁舎の利便性を高める期間を随時設定し、休日開庁や平日の時間延長を実施しました。 ◎大阪府パスポートセンター阿倍野分室の閉鎖に伴い、市役所窓口でパスポート申請ができるようにしました。